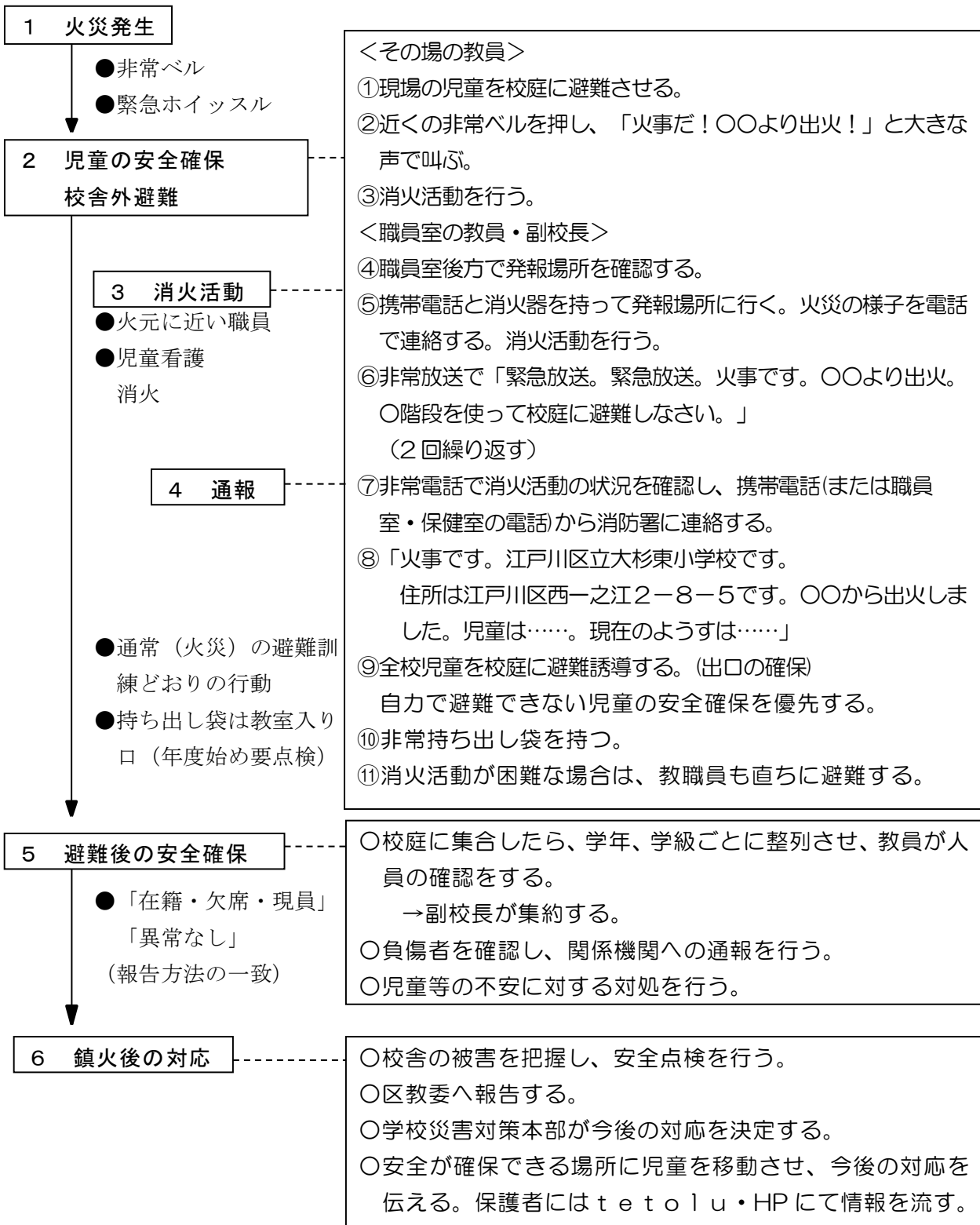


大杉東小マニュアル（火災）



*火災でなかった場合

非常ベルが間違っって押された場合には、職員室後方の警報盤横のマニュアルにより復旧作業を行う。

【 留意事項 】

0. 平常時

- (1) 教室には、ヘルメット、児童名簿、笛、非常持ち出し袋を常備しておく。
- (2) 毎朝、始業前に出席状況を確認する。遅刻・早退の状況も記入しておく。

■授業中（教員が指導中）… 教員は児童に適切な指示を与え、避難させる。

1. 避難前

- (1) 緊急放送を良く聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。
- (2) 窓を閉め、カーテンを束ねる(開ける)。扉を閉め、電気を消す。
- (3) 児童を廊下に出し、2列に並ばせる。

2. 避難中

- (1) ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守らせて移動させる。
- (2) 階段を降りるときは、上の階のクラスが内側、下の階のクラスが外側を歩く。
- (3) 最後のクラスが避難したら、担当者が防火扉を閉める。

3. 人員確認

- (1) 本部前(火を見せない)に、避難した順に各クラス2列に整列させる。
- (2) 担任(教科担任)が点呼を行い、その場に座らせる。
- (3) 担任(教科担任)は、副校長に人員を報告する。

「〇年〇組、在籍〇名、欠席〇名、〇名全員避難しました。」

*「欠席」とは、その時点での不在児童のこと。（早退・遅刻・出席停止・忌引等を含む）

- (4) 担任がクラスにつく。

■休み時間等（教員がいないとき）… 児童は自主的に判断して、避難を行う。

1. 避難前

- (1) 緊急放送を良く聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。
- (2) 近くの窓を閉め、カーテンを束ねる(開ける)。扉を閉め、電気を消す。

2. 避難中

- (1) ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守って、安全な避難経路を通して移動する。

3. 人員確認

- (1) 速やかに自分のクラスの列に加わる。
- (2) 教員の指示に従って、待機する。